



次世代につなげる森林づくり

平成 28 年 11 月 24 日

★技術開発試験地において「シカ被害地での低コスト再造林現地検討会」を開催する。

◆十一月一日、高知県四万十町大正にある当センターの試験地(コビ穴山国有林)において、高知県、森林総研四国支所及び四国森林管理局の合同主催により標記検討会を開催しました。

◆全国的に喫緊の課題となつていくことから、四国四県はもとより、石川県や京都府など一府八県の、国、地方公共団体、研究機関及び民間林業関係団体等総勢一〇余名の参加がありました。



挨拶する田口部長

◆冒頭、当局の田口森林整備部長より、「低コスト再造林など喫緊の課題の早期改善に向けて重要となる、関係者間での情報共有・連携を進めながら、林業のトータルコストの低減に繋がる取組を強化したい。」旨の挨拶がありました。

◆主催機関等から、テーマに関連した課題に係る取組について報告の後、参加者からは、熱心な質問等に加え、有効なウサギ被害対策や全体的に金網柵等侵入阻止に重点をおいた防護柵の施工をしているなど参考となる事例の紹介もあるなど、多様な参加機関の取組・現状について情報共有を図ることができた有意義な検討会となりました。

●主催機関等の報告課題は以下のとおりです。



総勢110名の参加者

●四国森林管理局 開発した小型囲いなど捕獲試験について ドローンの導入・活用について



囲い組立て実演



ドローン飛行実演

●簡易な苗木防護器材について ※生分解資材による苗木防護器材とシカ防護クリップ施工試験地



試験地近景



苗木防護器材設置実演

●シカ防護柵防護ネットの工夫について



説明する吉良補佐

※シカ防護ネットの低コスト化保全効果の強化のための工夫など

●森林総合研究所関西育種場 エリートツリーについて



説明する大久保係長

※エリートツリー、特定母樹の開発状況など

●森林総合研究所四国支所 シカの被害リスクに応じた再造林手法について ※植生の状態により、シカの被害リスクを判定する手法など



説明する酒井チーム長



植生で判断する！

●高知県立森林技術センター コンテナ苗及び一貫作業システムについて



説明する渡辺課長

※コンテナ苗の架線運搬及び現地架保管など実証試験成果など

●高知県鳥獣対策課 皆伐地でのくくりわなによるシカ捕獲について ※実証試験の成果を猟友会の専門家による実演を交えて説明してくれました。



説明頂いた皆様



くくりわな設置実演

◆マスキ取材 ※地元TV局の取材が、翌日放映されました。



TV取材を受ける所長



TV局取材中です！